

会 議 録

1. 会議名	出雲市子ども・子育て会議 第5回 発達支援検討部会
2. 開催日時	平成26年8月18日(月) 18:30～20:15
3. 開催場所	出雲市役所本庁 くにびき大ホール
4. 出席者	<p><委員></p> <p>板倉明弘委員、廣戸悦子委員、西郁郎委員、原広治委員、及川馨委員、岸和子委員、江角美枝委員、山崎彰子委員、長光悦子委員、藤原美保委員、名越真理子委員、福田明美委員、太田澄子委員(順不同)</p> <p><事務局></p> <p>健康福祉部長、子育て支援課長、健康増進課長、学校教育課長、福祉推進課長 ほか</p>
5. 次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第4回部会について</p> <p>(2) 子ども・子育て支援事業計画(素案)について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
6. 議事要旨	以下のとおり
健康福祉部長	<p>1 開会</p> <p>この発達支援検討部会は本日で第5回目の開催となり、長期にわたって活発なご議論を頂いていることに感謝申しあげる。</p> <p>本日は、委員の皆様の議論を基に作成した事業計画の素案について、ご協議頂きたいと考えている。よろしくお願い申しあげる。</p>
部会長	<p>本日も皆様のご協力をいただき、議事を円滑に進めていきたい。本日は「子ども・子育て支援事業計画(素案)」の協議を予定している。</p>
部会長	<p>2 議事</p> <p>(1) 第4回部会の協議状況等について</p> <p>それでは議事に入る。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料3 第4回発達支援検討部会 委員意見(要旨)について説明】</p>
部会長	<p>前回(第4回)部会で、委員から「就学相談で通常の学級と判断され、途中で特別支援学級へ入級した割合はどのくらいか」というような趣旨の質問を頂いているので回答をお願いします。</p>

事務局	<p>就学前に就学相談に申し込まれた該当児について、就学指導委員会の審議の結果、「通常の学級」の判定（教育措置）がなされ、小学校に入学した後もう一度、就学相談に申し込まれ、就学指導委員会の審議によって「特別支援学級」の判定（教育措置）がなされ、特別支援学級入級となった児童生徒数についてお答えする。該当の児童生徒の人数はH20年～H24年のデータによると年度毎に0～2人である。</p> <p>なお、本年度の就学指導委員会の対象となった該当児は3人である（H20申込者中1人、H22申込者中1人、H24申込者中1人）。</p>
部会長	<p>只今の説明について、ご意見、ご質問があればお願いします。</p>
委員	<p>審議の結果が小学校でどれくらい生かされているのかということをお尋ねしたかった。幼稚園、保育所の様子を伺うと、就学相談に申し込むことが非常に難しい状況もあり、就学までのところのつながりが大切だと思っている。</p> <p>審議していただくことは小学校としては大事なことだと思う。早期から就学指導を進めていくことが大切だと思う。</p>
委員	<p>小学校入学後に初めて就学相談に申し込んだ方はどのくらいいるのか。また、小学校では通常の学級で、中学校入学後に特別支援が必要となった方はどのくらいいるのか。</p>
事務局	<p>お尋ねの件については、資料がなく、直ぐにはお答えできない。</p>
部会長	<p>(2) 子ども・子育て支援事業計画（素案）について</p> <p>第4回部会では事業計画に記載する事項等についてご意見を頂いた。それらを踏まえて事務局において事業計画の素案（修正案）を作成して頂いているので、一通り説明があった後、皆様からご意見を伺いたい。まずは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料4 子ども・子育て支援事業計画 施策の体系について説明】</p> <p>【資料1・2 子ども・子育て支援事業計画 施策内容（案）について説明】</p>
部会長	<p>これから意見交換を行う。なお、記載内容についての質問の際には、事務局の担当課から回答をお願いします。</p>
委員	<p>福祉のネットワーク会議の中で、小学校入学後の放課後の過ごし方に関して、放課後等デイサービスを実施している事業所の受け皿がかなり一杯な状況であり、新規の受け入れが難しい状況と伺っている。また、地域で生きていく、地域で支えていくという視点から放課後児童クラブ等で障がいがある子どもをもっと広く受け入れてほ</p>

	<p>しいという意見も事業所から伺った。</p> <p>学校の後の過ごし方や、幼稚園での長期休暇等の際に行く所が無く悩まれている保護者もいるため、余暇の時間を過ごすことができる場が増えるといいと思った。</p> <p>福祉サービスの所管課と放課後児童クラブの所管課は異なるため、このような課題があがってきてもどのようにつなげればよいかわからない。課同士の連携が見えにくいこともあるので、窓口の一本化をしてもらいたいと思った。</p>
部会長	放課後児童クラブについてはこの事業計画に記載されるのか。
事務局	資料4の中では「IV仕事と子育ての両立支援－1. 子育てに関する多様な支援の充実－(3) 放課後児童クラブの充実」に記載されている。
部会長	その部分には、障がいのないといわれる子どもが利用する放課後児童クラブについて記述されているという認識でよいか。先ほどの意見は放課後等デイサービスや障がいのある児童のための放課後児童クラブ等についてどこかに書き入れてほしいというご意見である。保護者支援と捉えると「(5) 発達支援が必要な子どもを育てる保護者(家族)への支援の充実」にも該当するように思うが、どのように書き入れるかについては検討させていただく。
委員	実際に放課後児童クラブに障がいのある子どもが通っている例はある。そこで関わる指導員の方は、もっと子どもを理解してあげたり、いろいろ学んだりしたいと思っている。放課後どう過ごすかは、その翌日にも影響が出てくる。育ちの部分でも充実していくといいと思う。余暇を充実させていくことは、学校生活の充実にもつながる。
委員	放課後等デイサービスの利用で保護者の負担軽減につながっている。出雲地域はかなり充実してきていると思う。先ほど、放課後等デイサービスの利用が一杯になっていると伺ったが、ぜひ充実をしてほしいと思う。「(3) 障がい児福祉サービスの充実」に位置づけられるかと思う。
委員	幼稚園の夏休み等の長期休暇中、預かり保育がない園に通っている子どもは家庭で過ごすことになり、どのように過ごすか悩んでいる保護者もいる。福祉サービスのところに該当すると思うが検討してほしい。
委員	園では、放課後や夏休みの過ごし方を聞くことにしている。その期間を家庭で過ごすことが難しい場合がある。また、普通の子ども以上にテレビ、ビデオ、ゲームにはまってしまう子どももいるので、子どもと保護者の両面から対応を充実してほしい。
部会長	放課後児童クラブには、障がいのある子どもが入れない、受け入れてもらえないと

	<p>いうことはないか。</p>
事務局	<p>実際に受け入れているところもあると伺っている。</p>
部会長	<p>ノーマライゼーション、インクルーシブの考え方からするとそういう方向にさらに進んでいってほしい。</p>
事務局	<p>放課後児童クラブについて検討する社会養護部会では、放課後児童クラブの量の見込みが検討されており、障がい児の受け入れについての話は出ていない。放課後児童クラブの運営は地域に任されており、地域でいろいろ違いがあるため統一が難しい。</p>
部会長	<p>この部会としての声として伝えて入れてほしいところではある。</p>
委員	<p>福祉サービスの放課後等デイサービスを利用する子どももいれば、放課後児童クラブに通う子どももいる。放課後児童クラブで過ごしている子どもで発達支援が必要な子どもについては、その子どもがよい時間を過ごせるような環境整備が必要である。</p>
部会長	<p>実際利用している子どもはいるので、「放課後児童クラブの充実」の中身については事務局からも提案してほしいと思う。ユーザー側としては、やってほしいと思っている。</p>
事務局	<p>社会養護部会は既に全ての協議を終了しており、8/28の本会議において、計画全体を協議する中で意見を出していただくとよいと思う。</p>
委員	<p>具体的取組のところに「継続」とされている事業があるが、継続とは「今のままでよい」と受け止めてよいか。「継続」を「充実」としてほしいと思う。</p> <p>また、「(2) 就学移行・就学後の支援の充実」のところに、子どもにあった適切な支援を就学後につなげていくための「計画的な支援」とあるが、少し説明してほしい。</p>
部会長	<p>具体的取組については、これまでの部会の議論を踏まえると「継続」ではなく「充実」が望まれていると思う。</p>
委員	<p>「(2) 就学後の支援」について、就学後の学校生活の中でいろいろな不適応な状況が出てくる。その後初めて就学相談につながってくる。学校の中の教育体制の充実はとても大事だと思っているが、計画の中にどのように盛り込まれるのか。学年毎の継続性や校内での連携の弱さを感じているので、更に充実するよう取り組んでもらいたい。</p>

部会長	この部会では、主に就学前について話し合ってきたが就学後も大切である。今のよ うな意見を入れながら「(2) 就学後の支援」を少し加筆してほしい。
委員	文言、表現の修正で対応できるものがあると思う。解釈の仕方では校内体制の充実 も読み取れると思う。
部会長	文言をわかり易い表現に修正し、学校教育の更なる充実を取り入れていくことでよ ろしいか。また、「継続」は、今の状態を改善しながら発展させていく、改善しなが ら継続していくなどの解釈ができる。「継続」の使い方はどうか。
事務局	今後5年間で内容が拡充するなど前向きな方向性のものについては充実とし、財政 的なものを含めてまだ検討が必要なものは、引き続き継続になると思う。
部会長	「就学相談の継続」は、現在のままということだと思うが、就学相談のあり方を含 めた検討をしてもらいながら進めていくことが重要である。就学相談については国の 方針も変わってきているが継続でよいのか、通級指導教室は今後充実されていくの か、県教育委員会にも働きかけていただき再度検討してほしい。
委員	<p>具体的取組の「継続」、「充実」については検討が必要である。「保護者同士の交流 の場づくりの検討」は「推進」でもよいと思う。5年間計画の中で、どこがどのよう に実施していくかなど行動計画的なものができるといいと思った。早期からの仕組み づくりの検討が部会の役割だったが、「(1) 乳幼児期の支援の充実」の中に健診のこ とが書かれているが、「健診」として1つ項目を立てたらどうかと思う。乳幼児健診 の精度向上について、もう少し盛り込んでほしいと思う。</p> <p>(1)の「(2) 集団生活の場における子どもの育ちを支える」には、幼稚園と保育 所がひとくくりで書かれているが、幼稚園は特別支援教育コーディネーターがいるが 保育所はない。保育所においても発達支援に関するコーディネーターを配置するな ど、具体的に書ければいいと思う。</p> <p>「(6) 発達相談支援を担う人材の確保・育成」の具体的取組に「計画的な配置・ 養成」付け加えてほしい。</p>
事務局	「充実」、「検討」などの用語の使い方は、計画全体を通した定義づけが必要と考え ており、今後整理していく。また、計画は中間年で見直しをする予定である。基本的 には推進する計画だが、それぞれの事業の力の入れ具合もかわってくる。これから制 度設計するようなものは「検討」という表現になると思う。
委員	具体的取組をみると「検討」という表現が多いと思う。放課後児童クラブの件につ いては、発達支援をしていかねばならないということで対応している。

<p>部会長</p>	<p>「(8) 発達支援施策の推進体制の整備」の具体的取組について、関係機関との連携、推進体制は当然必要で、一番大切なものである。「推進体制の検討」ではなく、「確立」ということで盛り込んでほしいと思う。</p> <p>市民からすれば「市役所のどこの部署に相談事をもっていっても何かとしてもらえる。」というような連携体制を作ってほしいと思う。</p> <p>例えば、実際に就学前幼児の相談を受けているが、移行支援会議をされても、その時の協議内容が学校に伝わっていなかったり、保護者と違うイメージになったりしている。保護者から学校にも市教育委員会にも言えないような相談を受けることもある。やはり、総合相談窓口といった何か仕組みがあって、そこにいくとスムーズにコーディネートされていく、というようなところがあつたらいいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>就学相談のあり方について検討してほしいと思う。審議の仕方についての検討や、また就学相談が終わって反省する機会や次年度に向けて検討する場が必要だと思う。就学相談において今まで以上に総合的に判断するということでは、市教育委員会の役割、就学相談のあり方について是非検討、見直しをしてほしいと思う。</p>
<p>部会長</p>	<p>拠点園をつくと伺ったが、「拠点」の意味がよく分からない。また各課で連携している事業の更なる改善、充実をしてほしいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>拠点園とは幼稚園のことになるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>幼稚園・保育所課題等検討部会で検討をしているところだが、基本的には、中央保育所・幼稚園のような拠点園の数をある程度増やしていきたい。よりいい形で進めていきたいと思う。</p>
<p>部会長</p>	<p>以上で事業計画の協議を終了する。本日、十分に意見を出せなかった委員もおられると思うがここで終えたいと思う。今後のスケジュールを勘案すると限られた時間で作業を進める必要があり、本日の意見の対応は部会長に一任させていただくことよろしいか。それでは、この後は事務局と協議し、加筆、修正等の作業を行い、本部会の案としてとりまとめたいと思う。</p> <p>以上で議事を終了し、事務局に進行をお返しする。</p>
<p>事務局</p>	<p>3 その他</p> <p>今後の予定等についてお知らせする。8/28に、子ども・子育て会議の本会議が開催される。そこで事業計画素案（他の部会を合わせた全体版）を提案する。そこでの審議を経て、10月にはパブリックコメントを行う予定。本部会の審議は、本日の事業計画書の作成をもって、一旦これで終了となる。</p>

今後の部会の開催については、パブリックコメントの終了後に対応の必要性が生じた場合、また、その他部会を開催して検討する事案が生じた場合には、委員の皆様にお集まりいただく。その際は、改めてご連絡するので、ご協力をよろしくお願いする。

なお、子ども・子育て会議の本会議は条例に基づく常設的な審議会として設置されている。したがって本会議は毎年継続的に開催され、事業計画の進捗状況の管理等を行っていく予定である。部会については、その必要があれば開催されると伺っている。

4 閉会

委員の皆様には、長時間にわたり感謝申し上げます。本日の意見を踏まえて、部会長と協議しながら事業計画の修正作業を行う。また、本日も含め、これまでたくさんのご意見を頂き、たいへん感謝している。これだけ委員から多くの意見を頂いたことから、早期からの発達支援や就学移行に向けた取り組みなどに対する重要性を改めて認識した。

前回の部会で、原部会長からお話があったが、この部会で協議して頂いた事業計画に盛り込まれた内容を確実に推進していくためには、更に具体化するための検討が必要だと考えている。どのような形がよいかを含め、原部会長と相談しながら検討したいと考えている。その際は、委員の皆様には引き続きよろしくお願いする。

以上で、本日の会議を終了する。

会議終了